

Taonga 通信 vol.1 2017/5

2016 年度 3 次隊 渡邊あすみ (コミュニティ開発、マラウイ)



みなさん、ムリウーリ？（マラウイ北部の主要言語であるトゥンブカ語の挨拶で、How are you?の意味です。）
2017 年 1 月より青年海外協力隊としてアフリカ南部の小国、マラウイ共和国に派遣されている渡邊あすみです。
マラウイでの生活を始めてから、早いもので 4 か月が経ちました。マラウイは日本ではあまり知られていない国なので、「マラウイってどこにあるの?」「どういう国なの?」と思われるかと思います。マラウイの魅力、生活、そして協力隊員としての活動について、この「Taonga 通信」を通して、みなさんに伝えて行けたらと思います。
「Taonga (タオンガ)」とは、マラウイ北部の主要言語であるトゥンブカ語で「ありがとう」の意味の言葉です。
今までお世話になってきた方々、マラウイでお世話になっている方々、協力隊として活動させて頂いていることへの感謝の気持ちを込めて、「Taonga 通信」と名付けました。今回は、マラウイの基本情報、任地紹介、配属先紹介、マラウイの人の温かさについてお話したいと思います。

マラウイ国情報

国名：マラウイ共和国

愛称：The Warm Heart of Africa

人口：約 1,636 万人（2013 年時点）

面積：約 118,484 km²

(北海道と九州を合わせた面積、国土の 20%をマラウイ湖が占めている)

国旗：太陽は日の出を、アフリカ大陸の希望と自由の夜明けを表し、黒はアフリカ国民、赤は自由のための殉教者、緑はマラウイの自然を表している。

首都：リロングウェ

政体：共和制

経済：農業を主産業とし、タバコ、紅茶、コーヒー、綿、砂糖が主な輸出品

公用語：英語、チェワ語

宗教：キリスト教 75%、イスラム教 20%、伝統的宗教 5%

通貨：クワチャ

時間：日本マイナス 7 時間

国民 1 人あたりの GNI (国民総所得)：350 米ドル (2016 年時点)

* マラウイは、国民の半数以上が 1 日 1 ドル以下の生活をしていると言われる、世界最貧国のひとつです。

気候：熱帯サバンナ気候

主食：シマ (トウモロコシの粉をお湯と混ぜたもの)



任地紹介

私の任地は、首都リロングウェから約 600 km (バスで約 10 時間) 離れたマラウイ北部に位置する「カロンガ」です。タンザニアの国境近くに位置しており、町中ではスワヒリ語も聞こえてきたり、タンザニアの食文化が入っていたりと、マラウイの他の町とは異なる雰囲気のある町です。また、マラウイ湖沿いのため、1 年を通して暖かい気候です。生活言語としては、マラウイ北部の主要言語であるトゥンブカ語を話す人が多いですが、中心市街地を離れるとゴンデ語という現地語を生活言語とする人が多いです。



▲ (左) 世界遺産マラウイ湖 自宅から徒歩 10 分で行けるので、よく散歩しています。(右) マーケット 湖沿いの町なので、魚がたくさん売られています!



▲ (左) 左がカロンガ名物のコンドーレ (キャッサバの粉入りのシマ)シマよりもモチモチしています。右がチャンボ (魚)
(右) タンザニアンスープ プランテンと牛肉のスープ美味しいです。カロンガではプランテンを使った料理がたくさん!

どのような活動をするの？配属先紹介

私の配属先は、教育・文化・コミュニティ開発省が管轄するカロンガ県コミュニティ開発事務所です。

コミュニティ開発事務所では**住民の収入向上**、**生活改善**を目的とした小規模ビジネスグループの活動支援、公共事業の評価及びモニタリング、成人識字教育、栄養改善指導、住民の能力開発、ジェンダー啓発活動等、多岐に渡ります。私も地域普及員として、上記の配属先業務を行います。任地に赴任してからこれまでの3カ月間は、村のビジネスグループを訪問したり、ワークショップに参加したり、関係省庁やNGO等への挨拶回りをしたりと、今後の活動に向けて情報収集をしていました。今後も、引き続き現場に足を運び、まずは現状把握やニーズ調査をし、マラウイの人々の収入向上、生活改善に少しでも貢献できるような活動を明確にしていきたいと思います。英語が公用語のひとつであるため町中では英語が通じますが、活動をする村に行くと英語が通じず、現地語でのコミュニケーションが必要になります。そのため、村の人々とコミュニケーションが取れるよう、現地語であるトゥンブカ語とンゴンデ語の習得をすることも目標です。



▲担当しているグループのメンバー



▲国が行っているプロジェクトへの同行



▲普及員向けのワークショップでの講師を担当

マラウイは「The Warm Heart of Africa (アフリカの温かい心)」！

マラウイは**The Warm Heart of Africa** (アフリカの温かい心) と言われています。マラウイの人々は温厚で親切な人が多く、町中や村を歩いていると声をかけてくれたり、家や担当のグループを訪問すると「You are most welcome!」と言って大歓迎してくれたり、何か食べている前を通りかかると「Karibu! (どうぞ!）」と言って食べ物を分けてくれたりします。マラウイでの生活は日本のように便利ではないですが、そんな温かいマラウイの人々のおかげで毎日楽しく生活できています。



▲近所の子供たちと



▲近所のご夫婦